

協働評価シート

事業名		～人と人、人と自然、自然と宇宙、響き合いこたましあって～ (21世紀は金子みすゞのまなざし・いのちとこころの宇宙)	実施年度	平成29年度
部 局		市民部	課 所	人権擁護課
団体等の名称		石鎚みすゞコスモス		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	B
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事业展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A
			市	B
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	B
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	B
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	<p>自分たちでは徹底しにくい学校関係へ働きかけ等は、市との協働によりスムーズに行うことが出来た。（窓口の一本化）</p> <p>市民への周知も、市の広報手段（市政だより、ホームページなど）を活用し、広範囲に広報が可能であった。</p> <p>行政関係者への参加の呼びかけがもう少し強ければよかった。</p> <p>市から委託があることでイベント規模を大きくすることが出来、その分多くの人に参加してもらえた。</p>
市	<p>協働事業として、講師を含めイベントの内容が市民目線となり、行政のみの立案による押し付けのようなものが少なく、イベントの目的である人権意識の高揚を効果的に図れた。</p>
相互協議 結 果	<p>活動団体としては、協働事業として採択されたことにより、これまで長らく活動してきた成果が認識された事で、自信を持って活動に望めた。行政としては、イベントの内容を含め、人権啓発活動の新たな手法の参考となった。</p> <p>何より、多くの市民に参加してもらえ、金子みすゞの詩を通して、本来人として持つべき優しさ等の人権意識を多くの人に感じ、考えてもらえる場を提供できたのが嬉しかった。</p>